

地質ニュース

昭和 62 年 3 月

第 391 号

1 9 8 7

伊豆・小笠原弧 海形カルデラの熱水変質帯 —「しんかい2000」による潜水調査—	湯 浅 真 人 浦 辺 徹 郎 村 上 文 敏	6
インド洋・太平洋プレート境界海域における 島弧・海溝系の地質構造に関する研究(IPPBAS 計画)	本 座 栄 一 IPPBAS グループ	10
地震予知のための地下水水質変化データ時系列 分析としての Box-Jenkins 法	小 鯛 桂	20
仙台湾沿岸環境調査の覚書	大 嶋 和 雄 池 田 国 昭	22
内務省地理局における明治初年の地質調査事業 の性格について	中 村 光	31
地質調査所の国際活動の概要	海 外 地 質 調 査 協 力 室	41
一月の「中国地質報」から	岸 本 文 男	48
蔡凹アンチモン鉱山の教訓—中国地質報—	地 質 相 談 所	9
地学と切手	P. Q.	40
海外室だより	海 外 室	56
妻及び高鍋 TSUMA and TAKANABE	遠 藤 秀 典 鈴 木 祐 一 郎	58

口 絵 伊豆・小笠原弧 海形カルデラの熱水変質帯

湯 浅 真 人
浦 辺 徹 郎
村 上 文 敏

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

海形カルデラ南壁 水深 824m 付近. 黄褐色～赤褐色の沈澱物が厚くたまっている。これらは低温の熱水活動(温泉噴出)に伴う鉄の水酸化物と思われる。カルデラ床 カルデラ壁下部にはいたるところにこの沈澱物がたまっているが写真のこの地点では特に厚くたまり 温水の湧出によると思われる「ゆらぎ」も観察された。写真右下に見えるのは サンプルバスケットの前面に装備されている柱状採泥管の把手である(湯浅真人)。

4月号予定目次

伊豆大島火山1986年の噴火
—噴火の経緯と噴出物—
伊豆大島火山1986年の噴火
—割れ目とその伸縮観測について—
鉱物資源を考える(5)
「炭質物」の変身—石墨化作用の岩石学
昭和61年度の地質調査所の出版物